

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 7 月 22 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	情報コミュニケーション
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2026 年 8 月 25 日
明治大学卒業予定年月	2028 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	ドイツ
留学先大学	パッサウ大学(日本語名) Universität Passau(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語、英語/ 英語
留学期間	2025 年 10 月～2026 年 8 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 人文・文化科学部 現 地 言 語 で の 名 称 : Geistes-und Kulturwissenschaftliche Fakultät ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 10 月上旬～2 月中旬 2 学期: 4 月中旬～7 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	11,000 人
創立年	1973 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ユーロ) (1 現地通貨 = (両替当時)165 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	1 セメスターごとに、100 ユーロほど払いました。
宿舍費	3,410€	円	1 ヶ月 310 ユーロでした。
食費	2100€	円	
図書費		円	
学用品費	26€	円	ドイツ語の教科書代
携帯・インターネット費	9.99x11	円	
現地交通費	36x11	円	deutschland ticket が学割で一月 36 ユーロでした。(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	3,000€	円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	141,1x11	100,000 円	形態: TK,明治大学の保険
渡航旅費		200,000 円	往復の航空券代
ビザ申請費	100€	円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	10,693 (=1,764,345 円)	300,000 円	
総計(A+B) ※円		2,064,345 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地：成田 目的地：ミュンヘン 経由地：台湾	
復路 出発地：プラハ 目的地：成田 経由地：仁川	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社： 料金：	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：エバー航空 料金：110,000 円 復路 航空会社：アジアナ航空 料金：90,000 円 ∴合計：200,000 円	
航空券購入方法	
☐ 旅行代理店(店名：) ☒ インターネット(サイト名：公式サイト) ☐ その他()	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)	
☒ 学生寮(寮の名前：Bräugasse) ☐ アパート ☐ ホームステイ	
2) 部屋の形態	
☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)	
3) 共有部分	
☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 住居を探した方法：	
大学からの巡回	
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
大学から徒歩圏内で、旧市街にあるので景色もよく、部屋も広いです。19 世紀からある古い建物を寮にリノベーションした建物らしいので、古くて、清潔感はありません。冷房はありません。新築の友達の寮にもなく、知ってる限りの寮すべての寮に冷房はないのでハンディファンなど持っていくことをお勧めします。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: ブダペストにある英語対応している病院)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☐ なし

☒ あり (問題の内容や相談した人等: 留学サポートセンター、正直あまり良い対応ではありませんでした…)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

どこに行く際にも治安が悪いと言われる場所を予め調べていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

どこでも繋がりました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

expatrio というアプリで日本で事前に口座を作り、毎月 990 ユーロを自動で入金する形にしていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

ヘアアイロンは日本のものが一番です。ものもらいになった時に眼帯が売っておらず、困ったので 1 つくらいあるといいかもしれません。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	☒ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)	
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
☐ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
strategic Management		
科目設置学部・研究科	business administration	
履修期間	10 月～2 月	
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Prof. Dr. Andreas König	
授業内容	海外の企業がどう経営されているかを 1 から学びます。海外の大企業の方のお話を聞けます。	
試験・課題等	全て 4 択の multiple choice が 50 問くらいでした。	
感想を自由記入	週一であるエクササイズにも行き、より深く理解できました。ひっかけ問題が少なく、勉強した分だけ点が取れた気がします。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Phonetics and Phonology: British and American English		
科目設置学部・研究科	sobi	
履修期間		
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Stefanie Chabert	
授業内容	イギリス英語とアメリカ英語の音韻論についてです。発音記号などを主にまなびました。	
試験・課題等	オンラインで multiple choice が 50 問程度。	
感想を自由記入	発音記号が読めるようになりました。週 1 のエクササイズでは発音記号と英米の発音練習をします。頑張ると単位がもらえるので行くことをお勧めします。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Deutsch als Fremdsprache – Grundstufe 1 / A1		
科目設置学部・研究科	全学部	
履修期間		
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	少人数の講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回	
担当教授	Ewgenija Mathyl	
授業内容	ドイツ語の基礎の基礎から学びます。授業はドイツ語で進みます。ペアワークやスピーキング、グループワークなど、コミュニケーションをたくさん取る形式です。	
試験・課題等	リスニング、リーディング、ライティングを 90 分	
感想を自由記入	先生がお菓子を作ってきてみんなで食べることもあったりと、とてもアットホームで良かったです。人数が少ないので質問もしやすかったです。先生が英語を話せず、全てドイツ語なので最初は誰も理解してませんが、途中から何故か言っていることがだんだんわかってくるといふ不思議な経験をしました。英語を使っていけないという状況で確実にドイツ語力はあがりました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
The Cultural Work of American Photography: A Survey		
科目設置学部・研究科	geku	
履修期間		
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Prof. Dr. Karsten Fitz	
授業内容	アメリカ史を写真やアートで見ていくという内容です。高校の頃の世界史よりも深く、そして興味深い内容でした。	
試験・課題等	multiple choice と、写真を説明する筆記と、あとは、概念の説明のような筆記も出されました。	
感想を自由記入	内容はとても面白く、アメリカに行きたくなるほどでした。しかし、テストは、しっかり 1 から 100 まで勉強しないと解けないものが多く、むずかしいです。スライドやテストに出てくる英単語も難しいものが多かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Deutsch als Fremdsprache – Grundstufe 2 / A2		
科目設置学部・研究科	全学部	
履修期間	4 月から 5 月	
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	少人数の講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回	
担当教授	Dina Omar	
授業内容	ドイツ語の A2 レベルの授業です。英語が喋れる先生でしたが、基本的にはドイツ語で進めます。ペアワークが毎回あり、この先生は、リスニング問題をたくさんとかせてくれる印象です。人気講師です！確かにとてもわかりやすい授業でした。	
試験・課題等	リスニング、リーディング、ライティングを 90 分	
感想を自由記入	A2 になると、周りの生徒のレベルも上がりました。文法面で覚えることが増え、読む量も多くなります。終わる頃には A2 レベルならすらすら読めるようになりました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to English and American Literary Studies		
科目設置学部・研究科	geku	
履修期間		
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Prof. Dr. Katharina Böhm	
授業内容	アメリカとイギリスの文学の歴史を学びます。文学から派生して、歴史や思想も学びます。	
試験・課題等	multiple choice と筆記	
感想を自由記入	教授の英語がとてもイギリス英語です。内容は多岐に渡るため勉強が難しかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
"All Men Are Created Equal": The Cultural Impact of the American Revolution		
科目設置学部・研究科	geku	
履修期間		
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Prof. Dr. Karsten Fitz , Dr. Anna Ley	
授業内容	ARについて、とても詳しく学びます。内容が興味深いです。この授業は写真よりも映画をテーマにしている感じがしました。	
試験・課題等	multiple choice と、絵が意味するものを説明する筆記と、概念の説明のような筆記が出されました。	
感想を自由記入	一つの映画を見ないと解けない問題などもあり、勉強と思い映画を見るのは大変でしたが、いままでにない経験だったので面白かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
The Victorian Age		
科目設置学部・研究科	geku	
履修期間		
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Prof. Dr. Lucia Krämer	
授業内容	ヴィクトリア時代についての授業です。歴史の区分に分けて細かく学びます。	
試験・課題等	multiple choice、open questions	
感想を自由記入	教授が面白い豆知識のようなものを交えて講義をする上に、英語がとても聞き取りやすく、有意義な授業でした。	



卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

帰国後に本格的に就活を始める予定ですが、オンライン説明会などは、ドイツから参加するようにしました。時差が辛いですが、周りの日本人留学生の人たちもオンラインで朝方などに面接を受けたりしていました。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	ielts 取得
	10 月 ～ 12 月	留学選考面接
留学開始年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	航空券購入、滞在先確保
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	留学開始
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	帰国
	10 月 ～ 12 月	



留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

もともとヨーロッパの街並みや歴史が好きでヨーロッパの大学を志望していました。パッサウは、調べた時に街のカラフルな感じやゆったりした時間が流れていそうな雰囲気に惹かれ志望しました。また、言語学、音韻論が学びたかったこともあり、特化しているパッサウ大学を選択肢に入れました。

街は想像どおりの綺麗な街で、ゴミも落ちていないし、富裕層が多いらしく、治安も非常によかったです。本当に建物一つ一つがカラフルで可愛くて、最初来た時は本当にこんな綺麗な街があつてこんな可愛い家で人が生活しているんだと思い、毎日街を歩いていました。今でも川沿いなどを歩くたびに綺麗なと感動します。

しかし、現実はいまいかないことばかりでした。私は他の留学生に比べて不運なことが多かったと思います。旅行から帰ってきたら部屋水漏れしていたり…他にもたくさんありました。留学は思っていたよりも辛いことが多く、悔しい思いをすることが多かったです。なんだかハードモードだっただけにとても成長できました。自立したい人はぜひ留学することをお勧めします。ありえないくらい自立します。

楽しいことももちろんたくさんありました。最初のオリエンテーション期間にたくさん出歩くのが友達作りのコツだと思います。留学生同士、最初に仲良くなった人たちと2セメスターの間ずっといることが多いです。私の周りもそうでした。パッサウには基本的にヨーロッパから来る留学生が多いみたいです。私がよく一緒に遊んでいた子達は、スペイン、ウクライナ、フランス、イタリアのヨーロッパから来た子達でした。彼らのおかげで私の英語力が伸びたと言っても過言ではありません。全然喋れない状況で留学に来て、不安だった時も私の拙い英語を理解して英語でコミュニケーションを取ることの楽しさを教えてくれました。一緒にワールドカップを見て一つの国を応援したことはとても良い思い出です。それぞれの留学期間が終了する時にもお見送りの時に再会することを約束した時、世界中に友達がいるという感覚はなににも変え難いと思いました。韓国人も多く留学に来ているので、近い国ということもあり、とっても仲良くなりました。今までお互い人生で交わったことがない人たちで、なのに自国の友達と話してみたいに話せて笑い合えた瞬間はこれからもずっと素敵な思い出で残っていくのだろーと思います。どれだけ辛い思いをしても、そういう良い思い出が悪い記憶を消していきます。

奨学金を取ったことは、心身の負担をととても軽減させました。留学でかかる費用の他に、明治大学に払う学費も合わせると約1年で300万は超えます。留学中に申請できる給付型奨学金もあるので、たくさん調べることをお勧めします。

授業は全て英語かドイツ語なので最初はしんどかったです。でも、慣れです。最初は出席するだけでいいです。なれてきたら、自然と理解度も上がっていくし、聞きたいことを聞けるようになります。最初は理解できない恐怖で授業に行くのが億劫なことが多かったのですが、今では自分でもこんなに気後れせず授業に行けるようになったことに驚いています。慣れが一番ということを証明しました。

一人でいる時間も大切にしました。一人で本読んだり、絵を描く時間を大事にしました。自分が知らない自分の一面が見えてきたり、自分が一番没頭できるもの、好きなことを一人旅がきっかけで見つけることができた気がします。旅行もたくさんしました。友達とヨーロッパ中を巡りました。人生で一番飛行機に乗った回数が多い1年です。本当にいい経験になりました。お金はいつか返ってくると言う言葉を信じて貯めたバイト代をほぼ全て旅行費に使いました。世界中を巡ることは、若い時にしか時間的にも金銭的にもできない経験だと思うので！ちなみにドイツはdeutschland ticketというものを使えば、ドイツ中をたった36ユーロで周れるのでぜひ行って欲しいです。ボランティア経験もとてもよかったです。

ルーマニアの田舎の村にあるドッグシェルターで120匹の犬を毎日お世話したり、プラハではウクライナから来た難民のためのフードバンクで働いたりしました。人生の価値観が変わりました。ボランティア経験は強くお勧めします。ただ、見つけるのも計画するのも大変なので、自分からの行動あるのみだと思います。

私はありえないくらいの量の苦勞を味わってきた自信があるので、もしもこれを読んでも人でパッサウに留学していて困ったことがあったら、大学から連絡先をもらって連絡してください！なんでも答えられると思います。

大変なことも多かった1年ですが結果的にとても成長したので留学する選択をしてよかったです！